

未来英語塾 2023 初級コースシラバス

1. 本コースの位置付け

- 中津方式を基とする英語音声訓練の基礎コース
- 内容構成訓練（文化論、文章論）基本の導入

2. 本コースの目的

- アルファベット訓練・単語訓練
正しい英語音声の習得
英語音声の発声3原則の理解
基本3口形の習得
英語の基本音声（約30個の原音）の習得
基本音声が文章の中で発声できること
英語発声に必要な呼吸法の習得
英語基本リズムである強勢拍リズムの体験
⇒未来塾以外の英語訓練を効率的に受講できる基本且つ標準となる技術の習得
- スピーチ訓練
歌詞を題材にしたスピーチ導入訓練
映画「独裁者」の演説稿を題材にしたスピーチ訓練
- 言語技術 language arts の初歩を学習
技法体系の理解
基本的な音声、表現技術を学習
- 文章構成技術の理解
Paragraph writing の理解（導入）

3. 訓練方法

- ネット上の対面指導／集団訓練（15回、別紙日程表による）
- 音声訓練：アルファベット、単語、詩歌（文章量が少ない稿）、スピーチ稿
- ディベート導入訓練：新聞記事を題材とした発表稿作成訓練
- 英語に係る言語技術の復習
単語論、文法（一部）⇒文章論
- 英語世界と日本語世界の比較文化論
- 言語技術と比較文化論の基とした「中間日本語」の理解と導入

4. 本コースに参画する条件

- 中学校レベルの語彙を習得している。
- 中学校レベルの文法を理解している。

- 身体条件として発声訓練に支障がないこと。
- 欠席は 15 回中 3 回まで。但し、原則としてアルファベット、単語の訓練期間中は欠席不可。

5. 主なマイルストーン／進捗管理

- アルファベット修了
- 単語修了
- 詩歌発表
- Dictator 稿発表
- 賛成・反対発表

6. 当コースの後に続くもの

- 中級コース（他スピーチ稿による訓練、ディベート実施、文章構成、自作文発表）
- NHK 語学講座（ラジオ、TV）

7. 未来塾訓練の特徴

- 集団訓練（5～12 名で開催、初めは 1 講師対 1 受講生の訓練はしない、個別補講は別途検討）
- 日本人の身体的特徴、文化的なバイアスを考慮した訓練方法
- 積み上げ方式（音声と内容に分け、習得すべき事項を段階として設定し、習得した事項を後の授業の基礎として活用する。）
- 予習・復習が必要

8. 参考文献

- (1) 「中津燎子の英語音声塾」 未来塾編
- (2) 「なんで英語やるの？」 中津燎子（復刻版）
- (3) 「再びなんで英語やるの？」 中津燎子（復刻版）
- (4) 授業中に配布する新聞記事
- (5) 「Help Your Kids with Language Arts」 Linda B. Gambrell 他¹
- (6) 「大学生・社会人のための言語技術トレーニング」 三森ゆりか
- (7) 「ハートで感じる英文法」 大西泰斗
- (8) 「英単語基本イメージ集中講義」 大西泰斗

以上

¹ 以前、当図書の和訳書があったが、現在は廃版となっており、新著入手は困難である。なお、当図書のコンテンツは邦訳されていない言語技術概念・用語を含むので、可能であれば英文で内容を理解することが望ましい。